

問題 7. 嚢胞液

症例：56歳、女性。甲状腺腫瘍。

検体（採取法）：甲状腺（穿刺吸引）

染色：パパニコロウ染色

問題：正しいものに○、間違っているものに×を下さい。（VS：バーチャルスライド）

1. VSでは、好酸性細胞がみられる。 ×
2. 穿刺物は嚢胞性病変からの採取と考えられる。 ○
3. 診断カテゴリー（規約第7版）は「不適正」に相当する。 ×
4. 針洗浄液のカルシトニン測定は診断に有用である。 ×

解説

超音波では、嚢胞性病変で、充実部はほとんどない（図1）。細胞診では、変性赤血球と泡沫細胞がみられ（図2）、出血を伴った嚢胞性病変と考えられる。濾胞上皮細胞がみられる（図3）が、細胞質は少なく、淡染性で、N/C比が高いので、好酸性細胞ではない。取扱い規約・第6版では、泡沫細胞が多数みられるので「良性」に分類されていたが、第7版では、濾胞上皮細胞の集塊が6個以上ないことから、「嚢胞液」に分類される。ただし、ベセスダシステムでは「不適正」に分類される（図4）。髄様癌が疑われる場合は、穿刺針洗浄液のカルシトニン測定が診断に有用であるが、髄様癌は嚢胞化しないので、本例では必要ない。頸部リンパ節穿刺で液状検体を吸引した場合は、乳頭癌の転移が考えられるので、洗浄液のサイログロブリン測定を行うべきである。

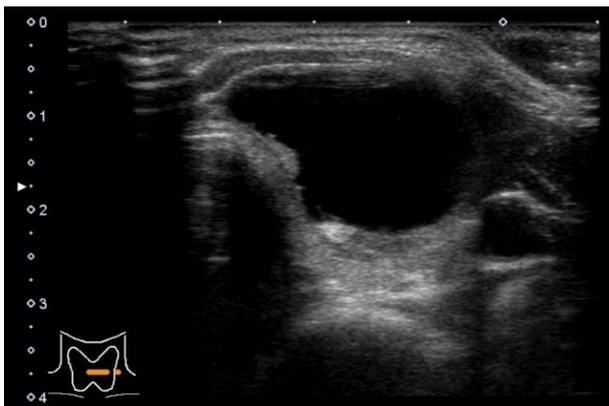


図 1

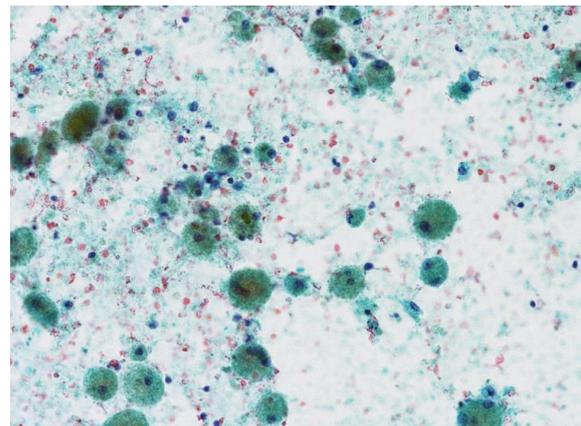


図 2

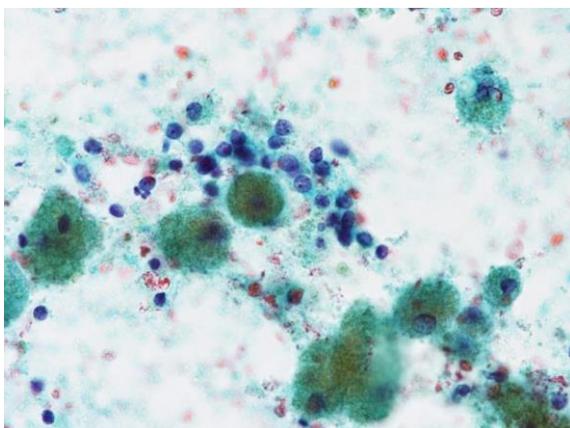


図 3

甲状腺細胞診報告様式の比較

取扱い規約第6版 (2005)	取扱い規約第7版 (2015)	ベセスダシステム (2010)
検体不適正	検体不適正 嚢胞液	不適正
正常あるいは良性	良性	良性
鑑別困難	意義不明 濾胞性腫瘍	意義不明な異型 濾胞性腫瘍
悪性の疑い	悪性の疑い	悪性の疑い
悪性	悪性	悪性

図 4